

施策番号 4-1-2	施策名 生涯学習の推進	基本目標	個性的で心豊かな人と文化を育むまちづくり			
		政策名	豊かな心を育む人づくりの推進			
	主管課	社会教育課	課長名	日下 勝祐	内線	517
	施策関係課					

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
生涯学習の機会や場の提供により、学習意欲に対応した生涯学習環境の充実を図ります。		町民	生涯にわたって学習できる環境の整備を行う				町民一人ひとりが自己の充実を図り、心豊かに暮らすことができるまちづくり
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 図書館資料年間貸出数	図書館調べ	冊	184,137	164,255	163,890	190,000	
② 1年間に生涯学習(学習経験)を行った町民の割合	住民意識調査	%	55.9	53.5	57.3	60.0	
③ 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	35.7	39.1	38.4	40.0	
成果指標設定の考え方	①年間図書館資料貸出数を策定時目標である184,137冊から段階的に190,000冊までの増を目指す。 ②・③公共施設以外で行われる学習機会の利用者も想定され、実態の把握は困難であるが、それぞれ60%・40%以上の目標値を維持する。なお、③について町・村は30%以上が多い。						

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	105,184	147,841
人工数(業務量)	2,6599	2,6102

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	図書貸出数は特設コーナーの設置等を試みた結果、近年の減少傾向から横ばいにとどめることができた。 生涯学習では、児童生徒・高齢者対象事業に比べ、成人対象事業の縮小が要因。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	図書については、学校図書貸出数(約2万冊)を含めてもやや目標に達しなかった。出張図書館や館外奉仕事業の充実を図ったが、来館者や貸出数の減少がそれを上回る結果となった。 生涯学習については、公民館や図書館講座、児童生徒への体験学習、高齢者学級の充実に努めたが、成人教育事業の縮小もあり住民意識の向上にまで繋がらなかった。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	少年教育活動運営事業 家庭教育学級活動支援事業 図書館ボランティアサークル活動支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	成人教育活動運営事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭教育学級の継続支援として、より身近な課題を取り上げ、実践的な勉強会として「めむろ家庭学級講演会」を開催し学習機会と意見交換機会の確保に努めた。</li> <li>図書館では、時々々の時事問題に対して提供できる図書の特別展示を行うとともに、図書館内外での読書推進のためのイベント開催等に努めた。ボランティアによる協力体制が継続することで図書館まつりが安定的に実施できた。</li> <li>児童生徒や高齢者に対する生涯学習の機会は、必要な見直しを加えながら実施してきたが、成人教育事業については、複数年にわたり課題解決への道筋が見いだせず、縮小する結果となった。</li> </ul>		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の概念である「いつでも・どこでも・誰でも」自由に学べる学習環境の整備が求められる。 →学習形態の多様化などに対応するために、住民ニーズに沿った事業検討。</li> <li>→高齢者学級の学習プログラムの見直しや、通園のための交通手段の確保。</li> <li>→コミュニティスクールの取組みによる地域教育力の向上。学校・家庭・地域・行政の連携強化。</li> <li>・民間活力の有効活用 →様々な分野で活躍している団体や調査・研究する組織との連携による事業化。</li> </ul>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役世代(成人教育)に対する事業の推進。</li> <li>・コミュニティスクールの取組みによる地域と学校の連携強化。</li> <li>・避難施設としての機能強化(公民館)。</li> <li>・図書館のエアコン空調の設置。</li> </ul>

**5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育推進中期計画(H31-R4)の着実な推進。 →コミュニティスクールの推進。地域学校協働活動の推進による学校、家庭、地域、行政の連携強化。</li> <li>→成人教育事業内容の再検討。</li> <li>→高齢者学級の学習プログラムの随時見直しと、通園のための交通手段の確保。</li> <li>→地域の指導者、ボランティアの協力と活動・活躍機会の提供。</li> <li>・社会教育施設の有効活用と維持管理 →図書館機能の再点検(図書、視聴覚備品等のあり方)。 →かつこう、ねんりんの運営方法と備品整備。</li> </ul>
--

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

		A	B	C	D	E
評価	児童生徒、高齢者などの学習機会の充実に努め、見直しを行いながら事業を実施しており、施策全体として前進したと評価する。			○		
今後の取組に対する意見	関係課・団体との連携を強化し、社会教育推進中期計画に基づき進めてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

		A	B	C	D	E
評価	柏樹学園のバス運行など、課題解決に向けた取組を進めている。			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用の増加に向けた働きかけなどを継続してほしい。</li> <li>・公民館、図書館などの空調(エアコン)について今後整備に向けて検討してほしい。</li> </ul>	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した				